

平成 27 年度 SGH 課題研究ベトナム研修旅行

■8月1日（土）ベトナム、ハノイに到着



地元でも有名なフォーのお店



さすが人気店！とてもおいしく頂きました

■8月2日（日）New King Company（現地刺繍会社）訪問



刺繍用の機械はベトナム最大数を誇る



社長の Hao さんは APU の 1 期生
若い従業員が多く、活気に溢れていました

■8月3日（月）

TOTO 訪問 製造過程に興味津々



ベトナム大使館医務官の中井呈子さんにベトナムの医療事情を教えてくださいました

ベトナムでは公衆衛生が整備されることで予防することができる病気がたくさんあること、日本とは医療の質が大きく異なることがよくわかりました



初めての大使館訪問に全員緊張していました

■8月4日（火） ホーチミンでベトナム戦争についての学習や市内で研修を行いました。

クチトンネル



現地の人たちがゲリラとなり、武器や戦力が少ないため知恵を使ってアメリカ兵と戦いました

ホーチミン市内研修



ベトナムといえばバイク 少しずつ横断も慣れてきました



ホーチミン市の郵便局



日本の ODA はベトナムの空港や道路、地下鉄建設事業に大きく貢献していました

■8月5日（水）

八ちゃん堂訪問

ベトナム工場ではたこ焼きではなく冷凍なすやマンゴーが生産され、すべて日本に輸出されています。じつは、ベトナム人はなすがきらいだという事実みんな驚きました



トン・ドゥック・タン大学訪問



APUの学生とも合流し、将来について語り合いました

あっという間の2時間半でした

サイゴンスカイデッキ



ベトナムは急速な発展と開発途上を兼ね備えた国でした
国民全体に設備がいきわたるだけでなく、衛生・安全・環境に対する意識が向上するような取り組みが必要なのかもしれません

とても有意義な研修になりました